

## 第7回行徳臨海部まちづくり懇談会

[🔍 戻る](#)


第7回目の行徳臨海部まちづくり懇談会が、平成14年7月3日（水）に行徳公民館集会室で開催されました。

会議では、市川緑の市民フォーラムから三番瀬の市民調査に関する報告、提案が説明され、三番瀬環境市民センターより「海辺のふるさと再生計画」の研究報告がありました。その他、市川市よりアメリカ及び国内の事例視察結果報告、行徳臨海部基本構想の策定に関する検討、意見交換が行われました。

<写真>

第7回懇談会の様子

【開催日時】 平成14年7月3日（水曜日）18時30分～21時00分

【開催会場】 行徳公民館 集会室

|        |                   |                        |
|--------|-------------------|------------------------|
| 【出席委員】 | 西村幸夫（東京大学教授）※座長   | 風呂田利夫（東邦大学教授）          |
|        | 松沢文治（行徳地区自治会連合会）  | 歌代素克（南行徳地区自治会連合会）      |
|        | 佐野郷美（市川緑の市民フォーラム） | 安達宏之（三番瀬環境市民センター）      |
|        | 東 良一（行徳野鳥観察舎友の会）  | 藤原孝夫（市川市行徳漁業協同組合）      |
|        | 石井 強（南行徳漁業協同組合）   | 富田伸彦（市川市塩浜協議会まちづくり委員会） |
|        | 杉浦康司（市川青年会議所）     | 山本眞三（都市基盤整備公団千葉地域支社）   |
|        | 尾藤 勇（市川市助役）       |                        |
|        | <敬称略>             |                        |

【会議次第】

1. 開会
2. 行徳臨海部の課題に係る最近の状況について
3. 委員報告  
（市川緑の市民フォーラム、三番瀬環境市民センター）
4. 市川市より先進事例視察報告
5. 行徳臨海部基本構想（案）について

6. 今後の予定、その他
7. 意見交換
8. 閉会

- 【会議資料】 [行徳臨海部の課題に係る最近の主な経緯](#)〔資料1〕(PDFファイル)  
[平成14年 三番瀬再生計画検討会議\(円卓会議\)関係](#)〔資料2〕(PDFファイル)  
[海岸保全区域図](#)〔資料2-2〕(PDFファイル)  
[護岸現状測量図](#)〔資料2-3〕(PDFファイル)  
[塩浜護岸の現状と概算による必要堤防高さ](#)〔資料2-4〕(PDFファイル)  
[千葉なの花県民会議\(市川市\)の開催結果概要](#)〔資料3〕(千葉県HP)  
行徳臨海部基本構想(案)関係資料〔資料4・資料5〕
  - ・[基本的な方針に基づく方策・課題の検討\(案\)](#)(本行徳石垣場・東浜地区)(PDFファイル)
  - ・[整備方針配置検討\(案\)](#)(本行徳石垣場・東浜地区)(PDFファイル)
  - ・[基本的な方針に基づく方策・課題の検討\(案\)](#)(第6回資料と同じ)(PDFファイル)
  - ・[海岸線の位置の比較検討\(案\)](#)(第6回資料と同じ)(PDFファイル)
  - ・[海と海浜部のゾーニング](#)(PDFファイル)
  - ・[海浜部のゾーニング](#)(PDFファイル)

【議事内容】 [ここをクリックしてください](#)

※各委員から提出された説明用資料については、掲載しておりません。懇談会の資料は、市川市役所市政情報センターなどで閲覧できます。

(平成14年7月作成)

---

[まちづくり懇談会トップページへ](#) [←第6回懇談会](#) [←シンポジウム](#) [第8回懇談会→](#)

[戻る](#)



市川市 都市政策室 行徳臨海部対策担当  
Copyright (c) 2002  
Ichikawa City. all rights reserved.

## 行徳臨海部の課題に係る最近の主な経緯

| 月 日     | 内 容                                                          |
|---------|--------------------------------------------------------------|
| 平成14年   |                                                              |
| ・ 4月 1日 | 都市政策室に改めて「行徳臨海部対策担当」を設置                                      |
| ・ 4月15日 | 知事記者会見<br>「江戸川第一終末処理場に係わるアンケート調査結果集計結果について」                  |
| ・ 4月17日 | 「本行徳石垣場・東浜地区土地利用検討部会」を開催                                     |
| ・ 4月17日 | 県が「第3回三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）」を開催（浦安市）                             |
| ・ 4月18日 | 「三番瀬海域環境再生検討部会準備会」を開催                                        |
| ・ 4月19日 | 「第6回行徳臨海部対策本部会議及び現地市視察会」を開催<br>（習志野市芝園地先、横浜海の公園、野島海岸、葛西臨海公園） |
| ・ 4月25日 | 埼玉県草加市が、市長以下28名で「自然環境保全への取組」として視察                            |
| ・ 4月25日 | 県で「江戸川第一終末処理場計画地検討会」を開催                                      |
| ・ 4月26日 | 県が「第1回海域小委員会」を開催（船橋市）                                        |
| ・ 5月 5日 | 市長が「湖西市松見ヶ浦（浜名湖）、愛知県藤前干潟」を視察                                 |
| ・ 5月 6日 | 市長が「横浜海の公園、野島海岸」を視察                                          |
| ・ 5月13日 | 市長が「カルフォルニア湾干潟再生事例」を視察（～20日）                                 |
| ・ 5月15日 | 県が「第2回海域小委員会」を開催（市川市）                                        |
| ・ 5月21日 | 県が「第1回護岸・陸域小委員会」を開催（船橋市）                                     |
| ・ 5月22日 | 「第8回三番瀬保全再生連絡協議会」を開催（市川市）                                    |
| ・ 5月26日 | 県が「三番瀬現地視察会及び第4回円卓会議」を開催（浦安市日之出地区）                           |
| ・ 5月29日 | 「本行徳石垣場・東浜地区土地利用検討部会」を開催                                     |
| ・ 5月29日 | 県が「なの花県民会議」を開催（市川市塩浜体育館）                                     |
| ・ 5月30日 | 「第1回三番瀬海域環境再生検討部会」を開催                                        |
| ・ 6月 1日 | 「第2回海辺のふるさと再生計画発表会」を開催                                       |
| ・ 6月 5日 | 県で「江戸川第一終末処理場計画地検討会幹事会」を開催                                   |

|         |                                                             |
|---------|-------------------------------------------------------------|
| ・ 6月14日 | 県が「第3回海域小委員会」を開催（市川市勤労福祉センター）                               |
| ・ 6月19日 | 県が「第2回護岸陸域小委員会」を開催（船橋市青少年館）<br>・ 市川市が護岸、陸域、基本構想案について説明      |
| ・ 6月19日 | 県が本行徳石垣場・東浜地区の地権者に「千葉なの花県民会議（市川市）の開催結果概要」の当該地区部分について、報告〔郵送〕 |
| ・ 6月24日 | 県が行徳地区自治会に「千葉なの花県民会議（市川市）の開催結果概要」の当該地区部分について、報告〔各戸回覧〕       |
| ・ 6月27日 | 「第7回行徳臨海部対策本部」を開催                                           |
| ・ 6月28日 | 「第2回三番瀬海域環境再生検討部会」を開催し、先進事例視察（富津干潟、盤洲干潟、東京港野鳥公園）            |
| ・ 7月 3日 | 第7回行徳臨海部まちづくり懇談会を開催（行徳公民館）                                  |
| ・ 7月12日 | 県が「第3回護岸陸域小委員会」を開催（浦安市運動公園総合体育館）〔予定〕                        |
| ・ 7月13日 | 県が「三番瀬勉強会」を開催（行徳公民館）〔予定〕                                    |
| ・ 7月19日 | 県が「第5回円卓会議」を開催（グリーンパレス千葉：→20日）〔予定〕                          |
| ・ 7月24日 | 三番瀬の再生と行徳臨海部のまちづくり市民公開講座を開催<br>（市川教育会館：⇒8／7まで4回）〔予定〕        |
| ・ 8月 2日 | 県が「第4回海域小委員会」を開催（市川市勤労福祉センター）〔予定〕                           |
| ・ 8月30日 | 第8回行徳臨海部まちづくり懇談会を開催（行徳公民館）〔予定〕                              |
| ・ 9月29日 | 第2回行徳臨海部まちづくりシンポジウムを開催<br>（市川市勤労福祉センター）〔予定〕                 |

## 平成14年 三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）関係

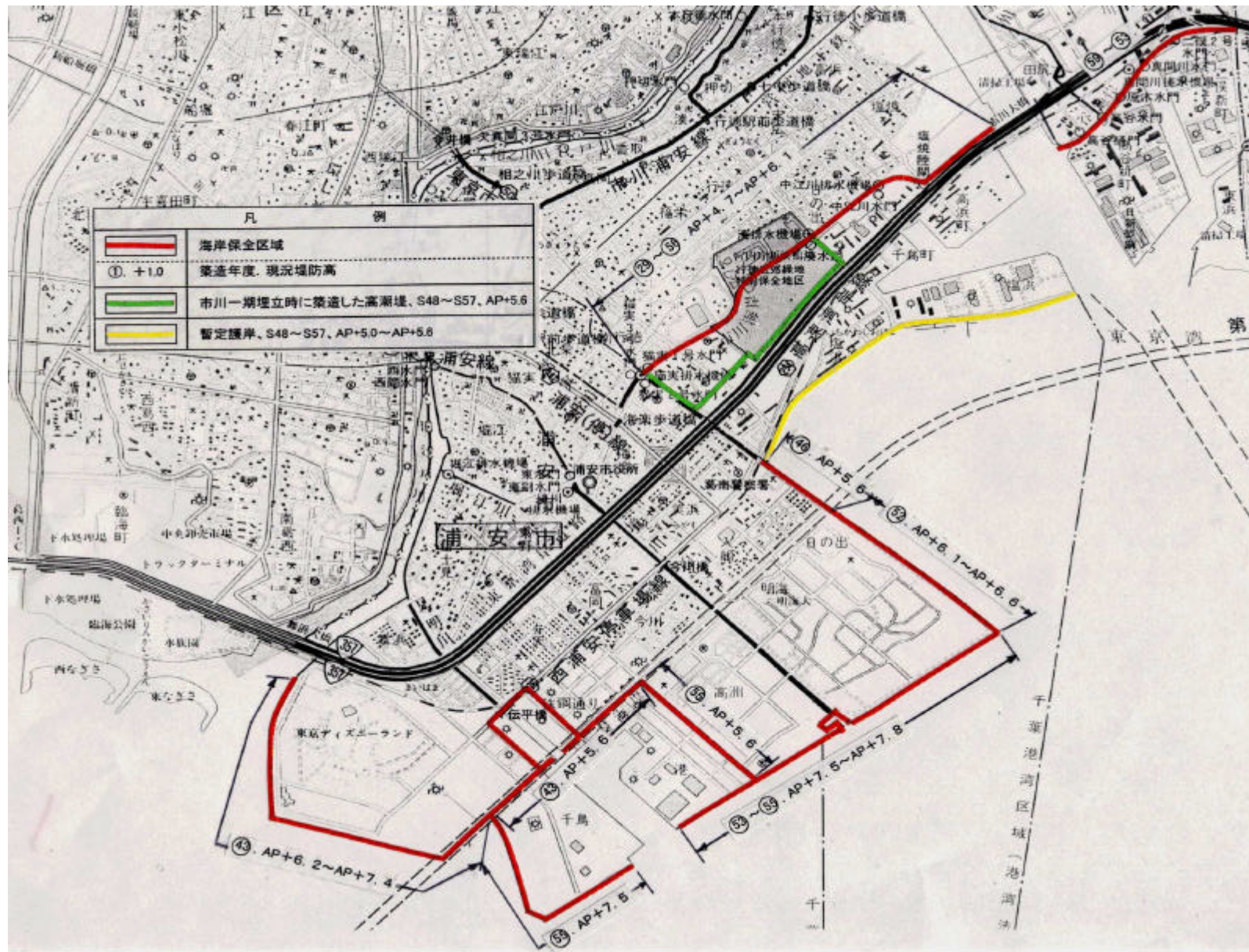
|                                       | 日付    | 議事内容                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回「三番瀬再生計画検討会議」<br>（於：千葉市文化センター）     | 1月28日 | (1) 検討会議のあり方について<br>(2) 今後の進め方について<br>(3) その他                                                                                                                                                                                         |
| 第1回三番瀬「専門家会議」<br>（於：浦安市市民プラザ・Wave101） | 2月11日 | (1) 専門家会議の組織について<br>(2) 円卓会議から依頼された検討事項について<br>ア. 再生の概念について<br>イ. 検討の範囲について<br>(3) 再生計画の検討に必要な資料について<br>(4) その他                                                                                                                       |
| 第2回「三番瀬再生計画検討会議」<br>（於：船橋市青少年会館）      | 3月19日 | (1) 県からの報告事項等について<br>(2) 第1回三番瀬「専門家会議」の結果について<br>(3) 三番瀬の再生の考え方について<br>(4) その他                                                                                                                                                        |
| 第3回「三番瀬再生計画検討会議」<br>（於：浦安市日の出公民館）     | 4月17日 | (1) 三番瀬の再生の考え方について<br>・各委員からの意見発表（一人2分程度）<br>(2) 県からの報告事項について<br>・円卓会議の結論の取扱いについて<br>・第二東京湾岸道路について<br>・下水道終末処理場について<br>(3) その他<br>・三番瀬海域において実施予定の事業について<br>・小委員会について<br>・ソフト事業について<br>・次回の開催日程等について                                   |
| 第1回三番瀬「海域小委員会」<br>（於：船橋市青少年会館）        | 4月26日 | (1) 「海域小委員会」の組織について<br>・運営要領（案）について<br>・代表者等の選出について<br>・新規の委員の選考方法について<br>(2) 調査について<br>・補足調査等の実施状況について<br>・平成14年度に実施する調査について<br>(3) 三番瀬海域において実施予定の事業について<br>・実施予定事業の取扱いについて<br>(4) その他<br>・次回の開催予定日について                              |
| 第2回三番瀬「海域小委員会」<br>（於：市川市勤労福祉センター）     | 5月15日 | (1) 三番瀬海域において実施予定の事業について<br>・実施予定事業の取扱いについて<br>(2) 調査について<br>・平成14年度に実施する調査の詳細について<br>(3) 青潮について<br>・青潮発生のメカニズムについて<br>・青潮の発生事例について<br>・補足調査における青潮調査結果について<br>・貧酸素水塊のモニタリングについて<br>・青潮（貧酸素水）による漁業被害状況について<br>(4) その他<br>・次回の開催予定日について |
| 第1回三番瀬「護岸・陸域小委員会」<br>（於：船橋市青少年会館）     | 5月21日 | (1) 「護岸・陸域小委員会」の組織について<br>・運営要領（案）について<br>・代表者等の選出について<br>・新規の委員の選考方法について<br>(2) 護岸等の現状について<br>(3) 今後の検討の進め方について<br>・各委員からの意見発表（一人3分程度）<br>(4) その他<br>・平成14年度に実施する調査について<br>・次回の小委員会の開催について                                           |

## 平成14年 三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）関係

|                                                 | 日付            | 議事内容                                                                                                    |
|-------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 三番瀬視察会の開催<br>（於：浦安市日の出護岸周辺）                     | 5月26日         | 三番瀬についての円卓会議の委員による説明の後、<br>潟の観察を行います。<br>その後、円卓会議の委員を囲んでフリーストーキング<br>を行います。                             |
| 第4回「三番瀬再生計画検討会議」<br>（於：浦安市日の出公民館）               | 5月26日         | （1）小委員会からの報告<br>・海域小委員会からの報告<br>・護岸・陸域小委員会からの報告<br>（2）小委員会運営要領（案）の承認について<br>（3）三番瀬の再生の考え方について<br>（4）その他 |
| 第3回三番瀬「海域小委員会」<br>（於：市川市勤労福祉センター）               | 6月14日         | （1）海域小委員会新規委員の承認について<br>（2）青潮について<br>（3）その他                                                             |
| 第2回三番瀬「護岸・陸域小委員会」<br>（於：船橋市青少年会館）               | 6月19日         | （1）「護岸・陸域小委員会」の新規委員の承認につ<br>（2）千葉県、地元市からの報告<br>（3）今後の検討の進め方について<br>（4）その他                               |
| 第3回三番瀬「護岸・陸域小委員会」<br>（於：浦安市運動公園総合体育館サブ<br>アリーナ） | 7月12日         | 未定                                                                                                      |
| 三番瀬勉強会<br>（於：市川市行徳公民館）                          | 7月13日         | 未定                                                                                                      |
| 第5回「三番瀬再生計画検討会議」<br>（於：グリーンタワーパレス千葉）            | 7月19日<br>～20日 | 未定                                                                                                      |
| 第4回三番瀬「海域小委員会」<br>（於：市川市勤労福祉センター）               | 8月2日          | 未定                                                                                                      |



# 海岸保全区域図





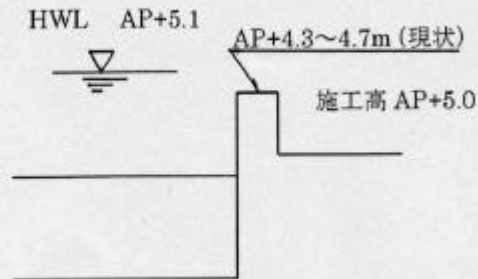




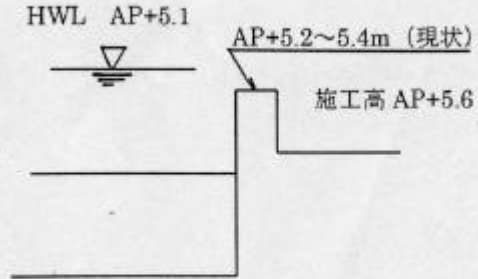
# 現状と概算による必要堤防高

## 1. 現 状

(塩浜 1、2 丁目付近)



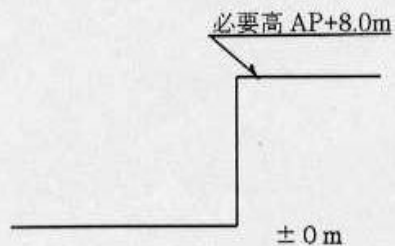
(塩浜 3 丁目付近)



$$\begin{aligned}\text{設計堤防天端高} &= \text{設計潮位 (台風 大正 6. 10. 1)} + \text{余裕高さ} \\ &= 5.1\text{m} + 0.5\text{m} = 5.6\text{m}\end{aligned}$$

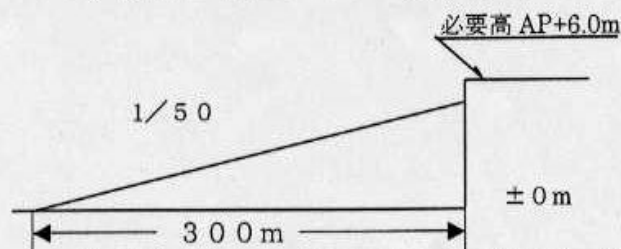
## 2. 概算による堤防高さ

(ケース 1) 直立護岸の場合



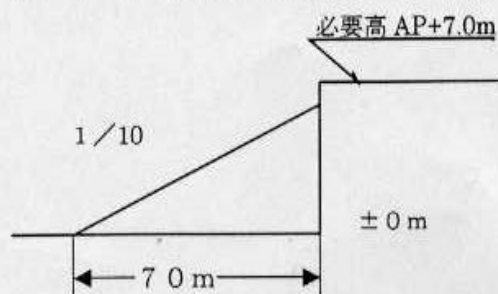
・現状より約 3.5m 高くなる

(ケース 2) 海側に勾配 1/50 の砂浜 (波押え) を築造した場合



・現状より約 1.5m 高くなる  
・海側に 300m 砂浜を造成する

(ケース 3) 海側に勾配 1/10 の砂浜 (波押え) を築造した場合

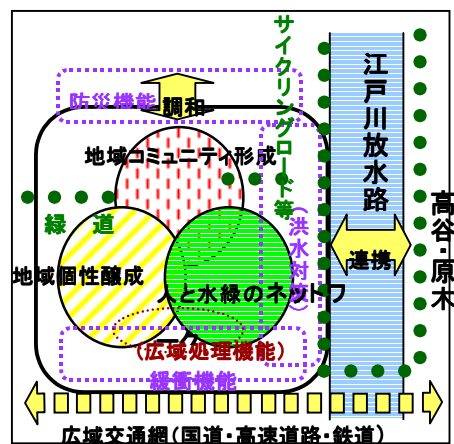


・現状より約 2.5m 高くなる  
・海側に 70m 砂浜を造成する

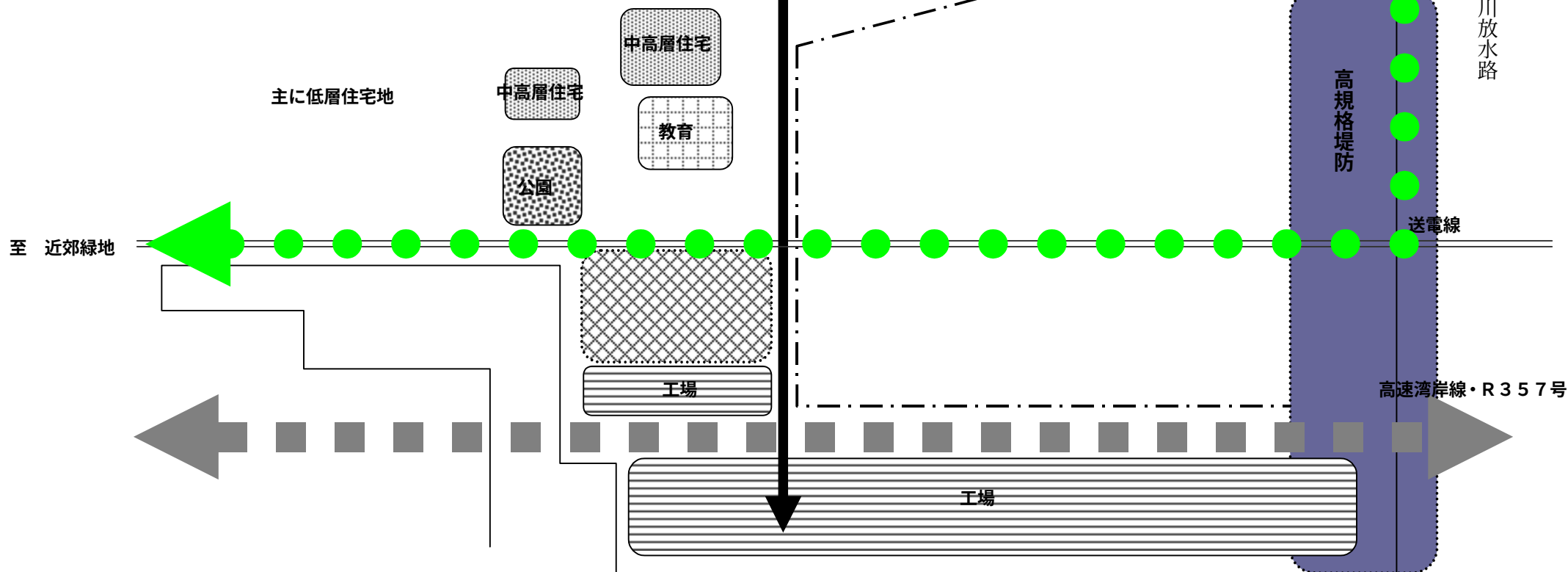
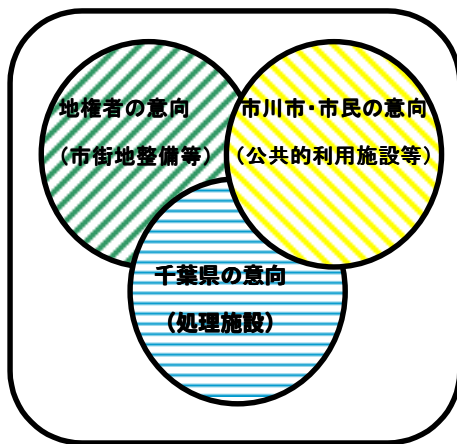
基本的な方針に基づく方策・課題等の検討（案）＜本行徳石垣場・東浜地区＞

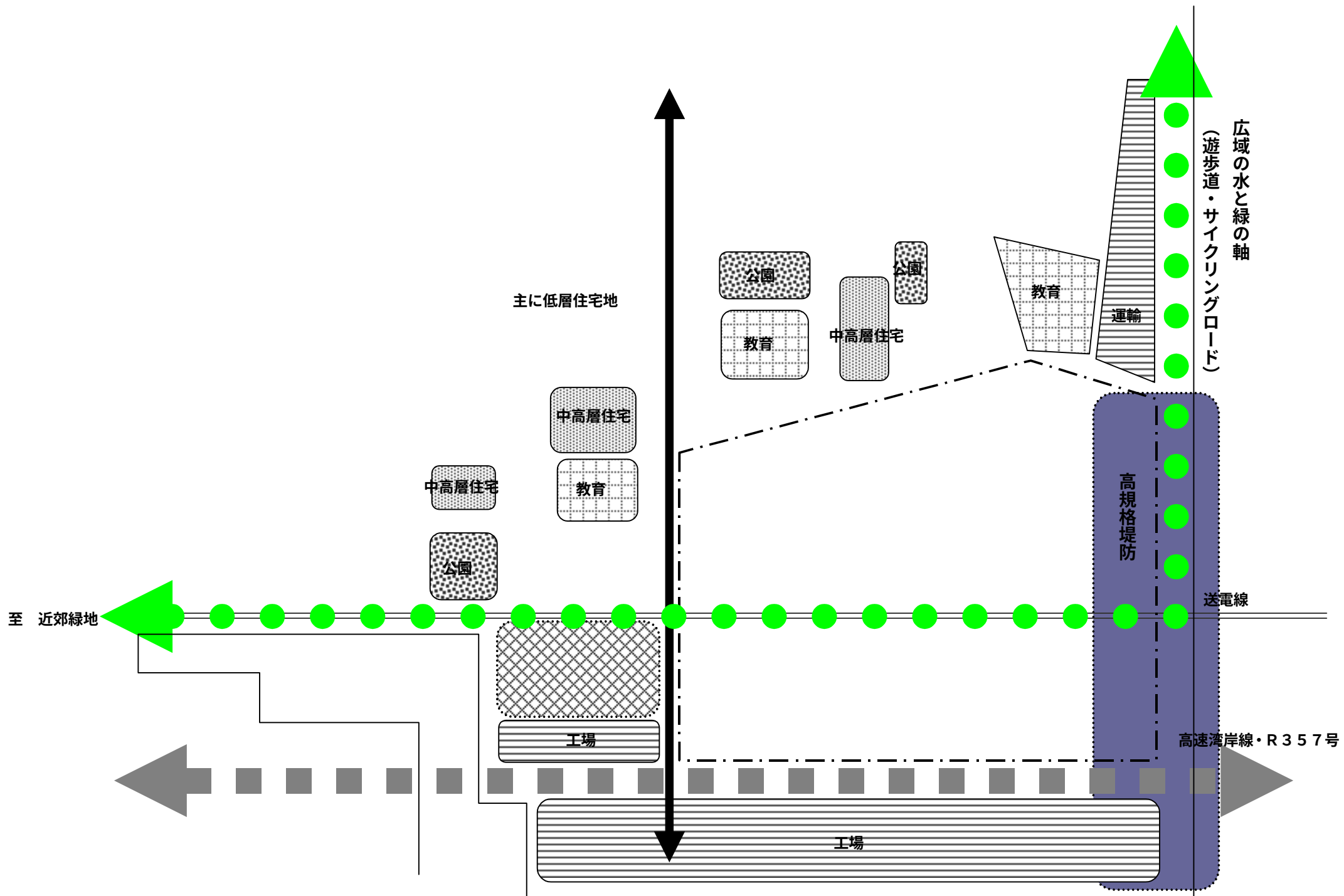
| 基本的な方針               | 方針の内容                                                                                                                                                                                                | 方 策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 問題点・課題                                                                                                                                                                                                                                                            | 備 考                                                                                            |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 広域的な人と緑のネットワーク拠点をつくる | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域から人を呼び込むことができる拠点的施設を整備する</li> <li>・江戸川を軸とした広域の水と緑のネットワーク拠点の一つとする</li> <li>・江戸川放水路の水辺空間と一体となった水と緑の空間づくりを行う場とする</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市域を越えた広域的視点から必要とされる公園・緑地・運動施設を整備する</li> <li>・広域散策・遊歩道、サイクリングロードを整備する</li> <li>・ミニサンクチュアリを整備する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設配置や施設相互のネットワークに関わる広域的計画を策定し、当該地区の役割分担を明確化する必要がある</li> <li>・広域からの利用への対応として、施設までの交通手段、施設周辺の駐車場、道路網の整備、さらに施設周辺の生活環境へ与える影響についても留意する必要がある</li> <li>・江戸川沿いの河川空間との一体的整備を図ることが望ましい</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末処理場の地下化や施設の屋上の積極的活用により、大規模な緑地空間の整備が可能である。</li> </ul> |
| 地域コミュニティを育てる         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動の拠点となる機能配置を行う</li> <li>・地域に目を向け、地域の誇りを養う施策の展開の場とする</li> <li>・地域住民が協働で創り上げる創造の場とする</li> </ul>                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティホールを整備する</li> <li>・総合福祉施設を整備する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活関連施設の配置は、住民の利用勝手及び下水処理施設の配置計画との整合性を考慮して配置する必要がある</li> <li>・コミュニティホール等の整備においては、広域域及び市内等の他施設との役割分担を考慮して整備する必要がある</li> <li>・福祉施設の整備においては、当該施設の役割分担を明確にして整備する必要がある</li> <li>・江戸川放水路対岸からの利用にも配慮して、橋梁等の整備を進める必要がある</li> </ul> |                                                                                                |
| 地域の防災機能を確保する         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模震災時の広域避難場所としての機能を確保する</li> <li>・大規模な洪水にも耐えうる施設整備を行う</li> <li>・葛南地域の防災拠点の一つとしても機能する施設整備を行う</li> </ul>                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災公園を整備する</li> <li>・広域避難地を整備する</li> <li>・広域防災備蓄倉庫を整備する</li> <li>・江戸川高規格堤防を整備する</li> <li>・（救急）総合医療施設を整備する</li> <li>・啓開道路、避難路を整備する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の地域レベルの避難施設との適正な役割分担を考慮して整備する必要がある</li> <li>・高規格堤防の高さに配慮した地区内土地利用の誘導が必要である</li> <li>・防災公園として機能する上では、公園周辺の耐火化にも配慮する必要がある</li> <li>・江戸川放水路対岸からの利用にも配慮して、周辺道路・橋梁等の整備を進める必要がある</li> </ul>                                    |                                                                                                |
| 地域の個性をつくりだす          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史や立地特性を積極的に活用した地域づくりを行う</li> <li>・地域住民が誇りに思い、地域全体の利用に供するシンボリックな空間を創出する</li> <li>・地域全体の楽しみの場、憩いの場を創出する</li> <li>・地域の構成ともなる新しい産業創出空間としての活用も指向する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末処理場の処理水を利用したせせらぎ整備やせせらぎ周辺でのアシ原整備を行う</li> <li>・下水の余熱を利用した地域冷暖房供給を行う</li> <li>・環境共生都市を整備する</li> <li>・環境大学院等環境研究・教育機関を誘致する</li> <li>・下水の余熱を利用した施設（温浴施設、温水プール等）を整備する</li> <li>・市民日常開放型県立運動公園の整備</li> <li>・個性ある複合文化施設<br/>創作美術館・創作工房<br/>環境系総合図書館 等</li> <li>・情報関連インキュベーション施設を整備する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種施設の整備においては下水処理場の配置計画との整合性が必要となる</li> <li>・広域的利用に資する施設の場合は、日常的な住民利用との調整が必要である</li> <li>・誘致すべき施設についてはその需要調査が必要である</li> </ul>                                                                                              |                                                                                                |
| 緩衝空間を確保する            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・湾岸道路との間に緩衝空間を整備する</li> <li>・施設内容によっては北西側既存住宅地との間に緩衝空間を整備する</li> </ul>                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩衝帯として機能する新産業施設を整備する<br/>（試験場、作業場、事務所、軽工場、アウトレットモール等）</li> <li>・緩衝緑地帯を整備する</li> <li>・運動施設（広場、競技場、体育館等）を整備する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘致すべき施設についてはその需要調査が必要である</li> <li>・北側の住宅地への緩衝空間の整備においては、北西側既存住宅地の生活環境との整合性に配慮する必要がある</li> </ul>                                                                                                                           |                                                                                                |

## 方針図（案）



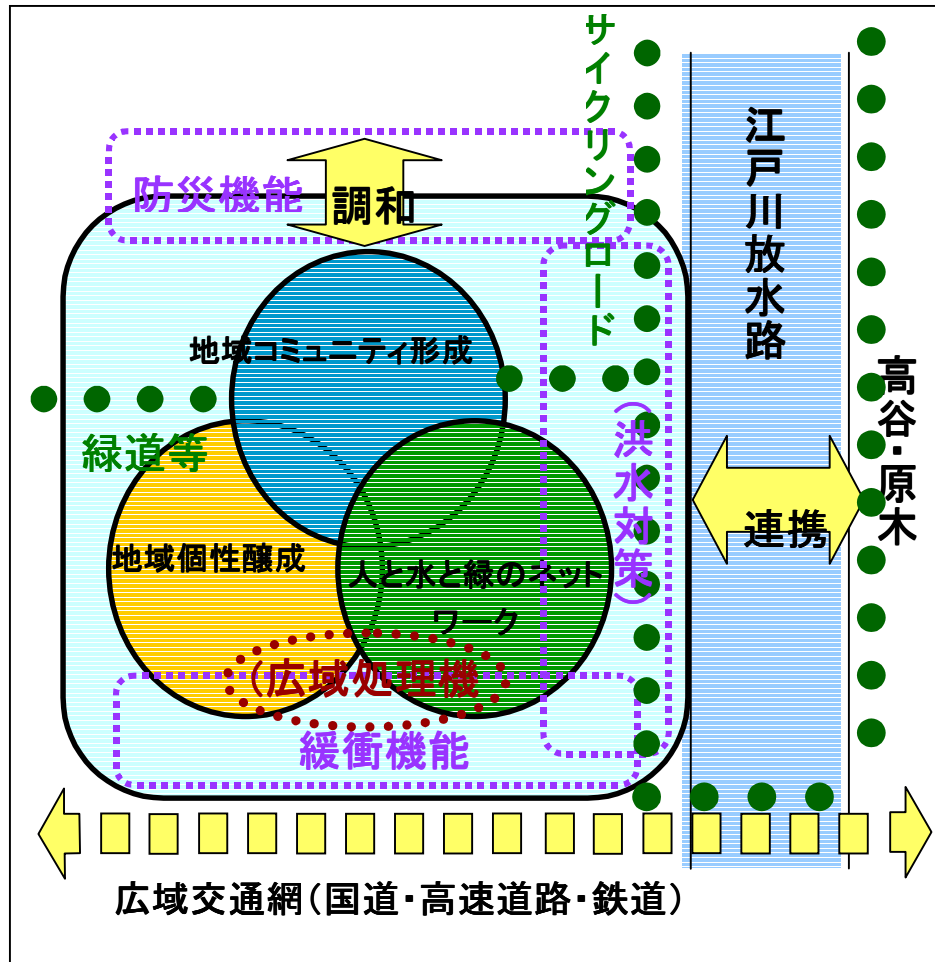
## 整備方針配置検討（案）



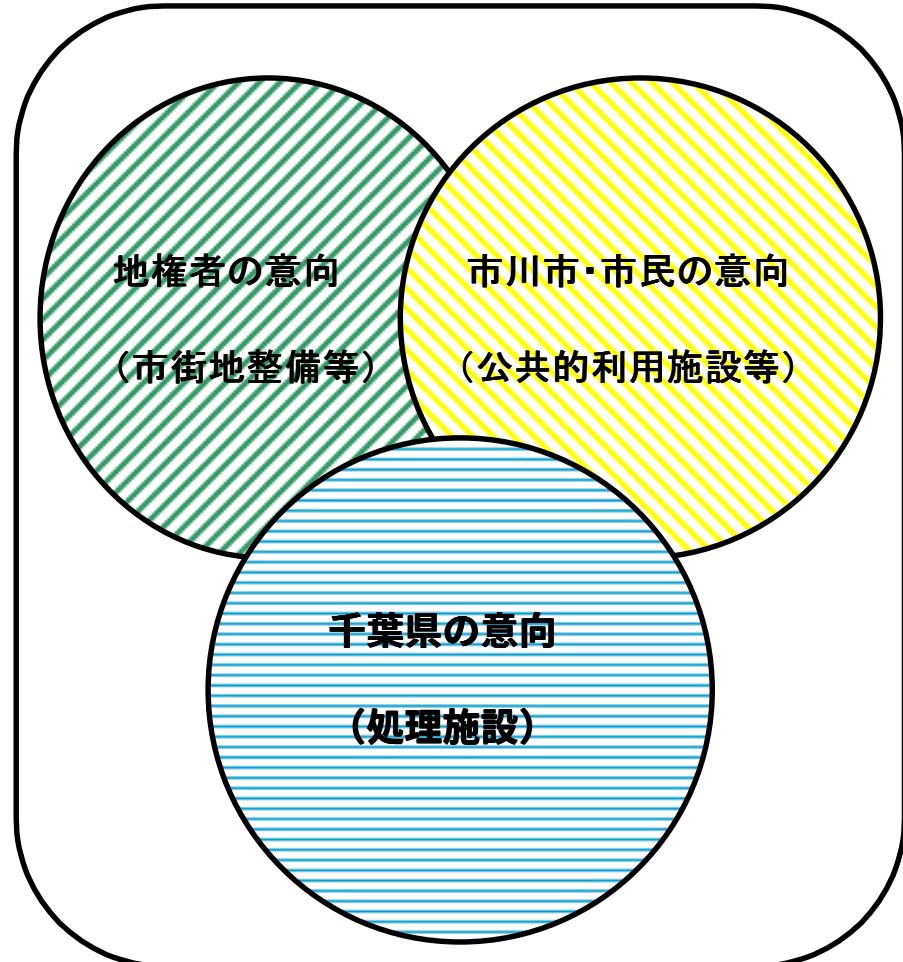




## 整備方針（案）



## 整備方針配置検討（案）

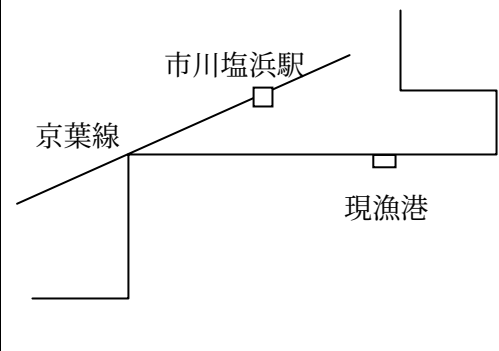
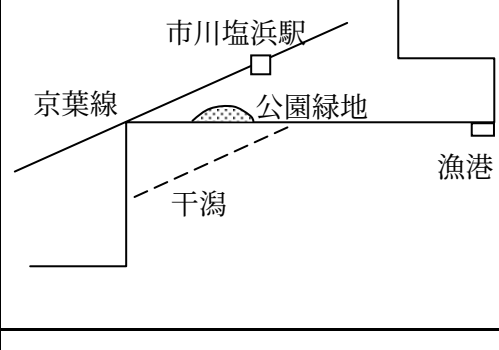
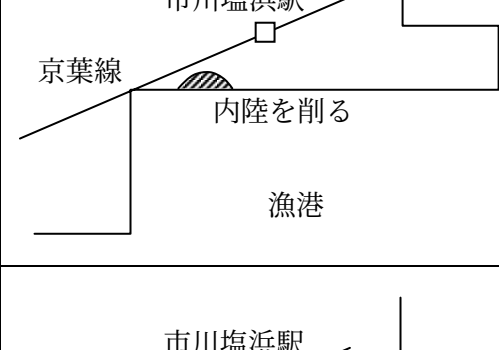
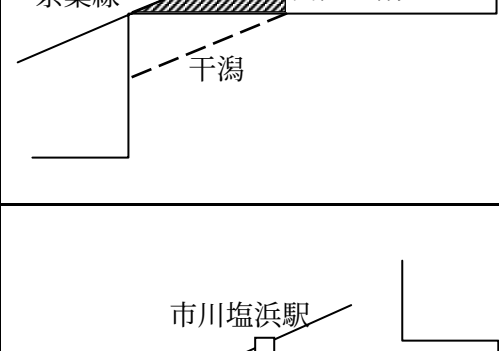
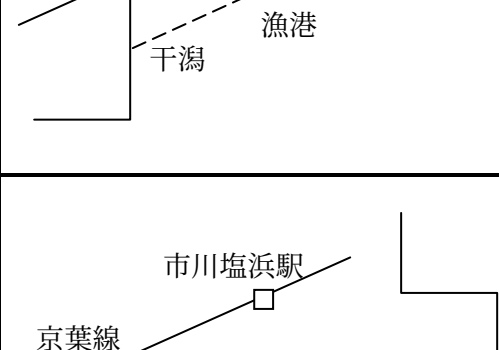


□基本的な方針に基づく方策・課題等の検討（案）

| 基本的な方針                  | 方針の内容                                                                                                                                                                                   | 方 策                                                                                                                                                                                                           | 問題点・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 備 考                                                                                                                              |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 海域の自然環境・漁場環境を保全・再生する    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業と一体となった生態系を保全・再生する</li> <li>・潮の流れと海水交換を改善する</li> <li>・青潮の発生、被害を抑制する</li> <li>・環境の多様性を高める</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アシ原、干潟、藻場の再生</li> <li>・水際線の形状の変更</li> <li>・覆砂、干潟の造成</li> <li>・人工滞、深掘部の埋め戻し</li> <li>・エアレーションの実施</li> <li>・多自然型による護岸改修</li> <li>・流入河川の水質浄化</li> <li>・その他（ ）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保全、再生の目的、目標を明確に設定する必要がある。</li> <li>・再生事業では、環境への影響を事前に調査し、モニタリングしながら進める必要がある。</li> <li>・地形の改変については環境へ悪影響を与えないよう十分に配慮する必要がある。</li> <li>・東京湾全体、流域単位で検討する必要がある。</li> <li>・持続的な再生作業、維持管理が必要と考えられる。</li> <li>・再生、維持管理のための仕組みづくり、人材育成が必要となる。</li> <li>・公有水面管理者（千葉県）等との調整が必要となる。</li> <li>・その他（ ）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アシ原、干潟の再生を現在の海域で実施するのか陸を削って実施するのか、意見の相違あり</li> <li>・貝類の違法採取、不法係留船対策は、早期に実施する。</li> </ul> |
| 漁業の安定と継続を図る             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業施設（漁港など）の機能を向上させる</li> <li>・市民と共存する都市型漁業として振興する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港の拡充、再整備</li> <li>・漁業施設用地の確保</li> <li>・直売施設（売店・レストラン等）の設置</li> <li>・協業化の推進</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港の位置、規模を漁業の振興及び海域環境の改善のうえで適切なものにする必要がある。</li> <li>・新たな用地の確保は難しい面がある。</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業補償、転業準備資金の早期解決の必要性あり</li> </ul>                                                        |
| 市民が親しめる海辺をとりもどす         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺へのアクセスを容易にする</li> <li>・水辺の魅力を高める</li> <li>・利用者の便益施設を整備する</li> <li>・利用者の安全を確保する</li> <li>・住宅地や駅から海辺までのアクセスを確保、改善する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩傾斜護岸、階段護岸の整備</li> <li>・干潟、砂浜の造成</li> <li>・海浜公園の整備</li> <li>・休憩所、トイレ、駐車場等の設置</li> <li>・遊歩道、サイクリングロードの整備</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への負荷の少ない利用方法の検討、ルールづくりが必要である。</li> <li>・護岸の改修、干潟等の造成による環境への影響を考慮する必要がある。</li> <li>・市川塩浜駅周辺の再整備と一体となった用地の確保、施設整備が必要である。</li> <li>・自動車による利用を抑制する必要がある。</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全、漁業、人の利用のゾーニング</li> </ul>                                                            |
| 安全を確保する                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高潮、高波対策を進める</li> <li>・航行の安全性を確保する</li> <li>・利用者の安全性を確保する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高潮堤の整備</li> <li>・不法係留船対策の推進、沈没船の撤去</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法的な海岸線の位置を早期に明確化する必要がある。</li> <li>・高潮堤の設置については、人の利用、環境保全、景観に配慮する必要がある。</li> <li>・プレジャーボートの法的規制を行うとともに暫定係留場所を確保する必要がある。</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県が平成14年度内にプレジャーボート対策について条例化を予定</li> </ul>                                              |
| 市川塩浜駅周辺を海辺の街にふさわしく再整備する | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海辺の街と駅前にふさわしい土地利用を進める</li> <li>・賑わいのある街にふさわしく、広場、歩道等を整備する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・用途地域の変更</li> <li>・市街地整備</li> <li>・広場、遊歩道等の整備</li> <li>・近郊緑地と海を結ぶ水路の整備</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業の理解と協力を得て進める必要がある。</li> <li>・三番瀬の再生計画と一体として進める必要がある。</li> <li>・高層建築物の建築は、野鳥の飛行に悪影響を与える可能性がある。</li> <li>・海から見た街の景観を考慮する必要がある。</li> <li>・法的な海岸線の確定と高潮対策を同時に進める必要がある。</li> <li>・水路の用地確保について調整する必要がある。</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の三番瀬再生計画の方向性が早期に決定されることが望ましい。</li> </ul>                                                |

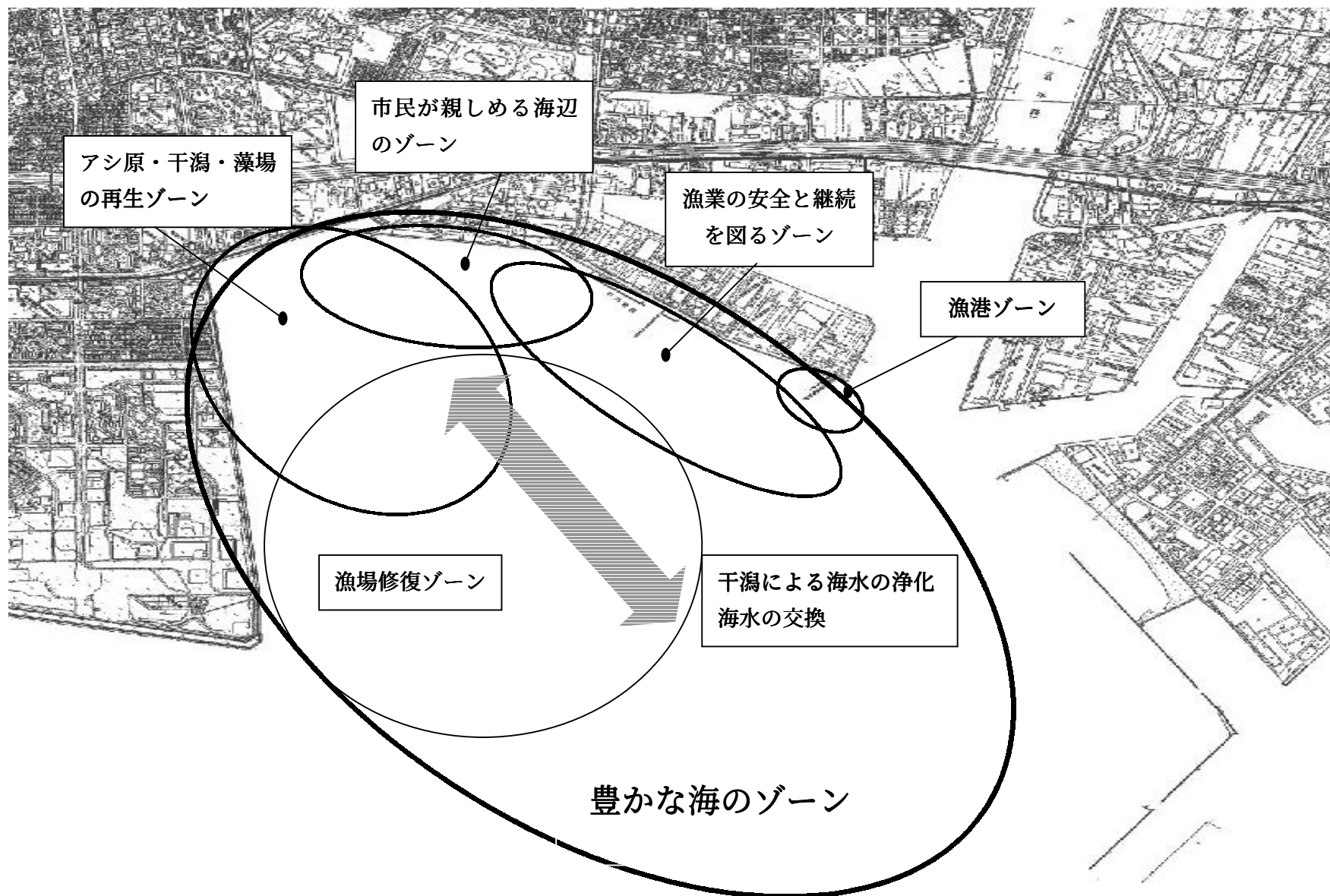
| 基本的な方針              | 方針の内容                                                                                                                                                 | 事業等の内容                                                                                                                                                                                             | 問題点・課題                                                                                                                                                                                                                                           | 備 考                                                                             |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 自然環境学習・研究の場とする      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習の場として整備する</li> <li>・海の再生、研究の拠点をつくる</li> <li>・東京湾全体を考える研究の拠点をつくる</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習施設の誘致・整備（観察施設・体験施設・研修施設・宿泊施設など）</li> <li>・研究施設の誘致・整備（全国レベルの干潟研究、東京湾研究、海に関する大学など）</li> <li>・指導者、研究者の育成</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備のための用地を確保する必要がある。</li> <li>・市民、環境団体、関係機関、研究者、教育関係者等と連携して進める必要がある。</li> <li>・ハード（施設整備）だけが先行するのではなく、ソフト面（仕組み、管理運営体制など）の取り組みを重視する必要がある。</li> <li>・運営に関わる人材育成が必要である。</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然だけでなく地域の歴史・文化を含めた学習、研究とする。</li> </ul> |
| 行徳近郊緑地を再整備し海との連携を図る | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行徳内陸性湿地の再整備を進める</li> <li>・海水交換を促進し環境を改善する</li> <li>・近郊緑地と海、市川塩浜駅とのアクセス（人の動線）を確保する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水路の開削</li> <li>・水門の拡幅</li> <li>・遊歩道の整備</li> <li>・湾岸道路の蓋かけ、ペDESTリアンデッキの設置</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水路の開削にあたっては、用地の確保と技術的な検討が必要である。</li> <li>・開削水路の整備については、市川塩浜駅周辺の再整備構想の策定作業と連携を図り、地元企業の理解と協力を得る必要がある。</li> <li>・海水交換の促進による海域環境への影響を調査する必要がある。</li> <li>・道路事業者、鉄道事業者との協議が必要となる。</li> <li>・その他（ ）</li> </ul> |                                                                                 |
| 人と水と緑のネットワークをつくる    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境のネットワークをつくる</li> <li>・まちと海とのつながりネットワークをつくる</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水路の再生（下水道処理水の活用）</li> <li>・遊歩道、サイクリングロードの整備</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道処理水を海域に流入させる場合は、環境への影響を調査する必要がある。</li> <li>・下水道第二終末処理場の将来計画との調整が必要となる。</li> <li>・行徳地域全体の将来のまちづくりと連携させる必要がある。</li> <li>・広域的なネットワークについても検討する必要がある。</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                          |                                                                                 |
| 市民と協働で進める           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の関心を高める</li> <li>・計画策定、再生作業などを市民参加で進める</li> <li>・情報を共有化する</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加による調査、実験</li> <li>・懇談会、シンポジウム等の開催、公開</li> <li>・市民活動への支援</li> <li>・イベント開催（見学会、観察会など）</li> <li>・調査、計画資料の公開</li> <li>・活動拠点の整備</li> <li>・その他（ ）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な市民意見、要望の調整が必要となる。</li> <li>・多様な市民が継続的に参加する仕組みづくりが必要となる。</li> <li>・市民の主体的な活動が重要となる。</li> <li>・市民、行政、専門家、企業などの役割分担と連携が重要である。</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                |                                                                                 |
| 自然の知恵と力を借りる         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査をしながら進める</li> <li>・昔の自然に学ぶ</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境調査、環境影響評価、モニタリングの実施</li> <li>・情報の収集、蓄積</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の再生には十分な調査と時間が必要である。</li> <li>・継続的に環境の状況を監視する必要がある。</li> <li>・計画の柔軟性を高める必要がある（調査結果に応じた計画の変更など）</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>                                                                             |                                                                                 |

□海岸線の位置の比較検討（案）

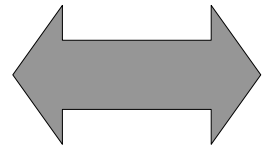
| 海岸線位置                          | 干 潟          | イメージ図                                                                                | 長 所・短 所                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 .現状のまま                       | ①現状のまま       |    | ①漁場環境及び自然環境は、現状のままとなる。（停滞域の解消等）<br>②市民が海に親しめる空間の確保は難しい。<br>③恒久的な漁港及び漁業施設の整備は難しい。<br>④護岸の恒久的整備が行われた場合（高潮、高波対策としての構造、機能）駅周辺の再整備は、海と連携したものとなりにくい。<br>⑤一方、防潮堤の背後に、一部、遊歩道が確保できる。                                                                                                                                   |
|                                | ②猫実川河口部付近に造成 |   | ①干潟の造成により漁場環境及び自然環境の改善が期待される。ただし、干潟造成の方法によっては、環境への何らかの影響も懸念される。<br>②干潟の出現により、市民が海に親しめる空間が形成される。<br>③市民が利用する干潟と公園を一体的に整備することができる。<br>④恒久的な漁港及び漁業施設が確保できる。<br>⑤駅周辺の再整備は、海との連携を意識したまちづくりが期待できる。（水質改善など近郊緑地の再整備が期待できる。）                                                                                           |
| 2 .内陸を削る                       | ①現状のまま       |  | ①海域の漁場環境及び自然環境の改善にはならない。<br>②近郊緑地と海の距離が縮まる。<br>③陸域を海に戻すことについて、地元の企業の理解を得ることが困難である。<br>④市民が海に親しめる空間の確保は難しい。<br>⑤水質改善など近郊緑地の再整備が期待できる。<br>⑥防潮堤の位置、構造の確定は難しい。<br>⑦恒久的な漁港及び漁業施設の整備は難しい。                                                                                                                           |
|                                | ②猫実川河口部付近に造成 |  | ①干潟の造成により漁場環境及び自然環境の改善が期待される。ただし、干潟造成の方法によっては、環境への何らかの影響も懸念される。<br>②近郊緑地と海の距離が縮まり、水質改善など近郊緑地の再整備が、期待できる。<br>③陸域を海に戻すことについて、土地所有者である企業の理解を得ることが困難である。<br>④駅前の再整備ができないため、人の利用は困難である。<br>⑤内陸を高潮・高波から守る対策が必要である。<br>⑥恒久的な漁港及び漁業施設の整備は難しい。                                                                         |
| 3 .海にせり出す                      | ①猫実川河口部付近に造成 |  | ①干潟の造成により漁場環境及び自然環境の改善が期待される。ただし、干潟造成や陸域のせり出しの方法によっては、環境への何らかの影響も懸念される。<br>②干潟の出現により、市民が海に親しめる空間が形成される。<br>③市民が利用する干潟と公園を一体的に整備することができる。<br>④陸域が一部せり出すことで、環境への影響が懸念される。<br>⑤駅周辺の再整備は、海との連携を意識したまちづくりが期待できる。（水質改善など近郊緑地の再整備が期待できる。）<br>⑥恒久的な漁港及び漁業施設が確保できるが、新たな航路（滞）の検討が必要となる。                                 |
| 《参考》<br>市川二期埋立計画見直し案<br>（90ha） | 埋立地先に造成      |  | ①埋立により、環境への影響が懸念される。<br>②干潟の造成により漁場環境及び自然環境の改善が期待される。ただし、干潟造成の方法によっては、環境への何らかの影響も懸念される。<br>③干潟の出現により、市民が海に親しめる空間が形成される。<br>④市民が利用する干潟と公園を一体的に整備することができる。<br>⑤駅周辺の再整備は、海との連携を意識したまちづくりが期待できる。（水質改善など近郊緑地の再整備が期待できる。）<br>⑥恒久的な漁港及び漁業施設が確保できるが、新たな航路（滞）の検討が必要となる。<br>⑦処理場が計画されたことで、石垣場・東浜地区の適正な土地利用やまちづくりが促進される。 |



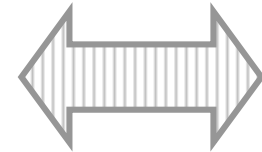
## 海と海浜部のゾーニング



## 海浜部のゾーニング



人の動線



水の動き

### 行徳近郊緑地

- ・ 野鳥の生息に適した環境づくり
- ・ 自然観察の場として整備
- ・ 良好な湿地帯の再現
- ・ 観察者受入にも配慮した整備  
(千鳥水門・暗渠水門の拡張、観察路(遊歩道)、JR 塩浜駅からのアクセス用通路、干潟面積拡張・底質の改善)

歩行者動線の確保  
(湾岸道路の蓋掛け  
ペデストリアンデッキ  
遊歩道)

歩行者動線の確保  
(遊歩道、サイクリン  
グロード)

湾岸道路

海水交換の促進  
(水路の開削、暗渠・ポンプ等の整備)

猫実川  
(流入河川の水質浄化、  
多自然型護岸)

JR京葉線

散策ゾーン(海浜公園、遊歩道、サイクリングロード)

街づくり推進ゾーン

ふれあいと学びゾーン  
(研究施設、環境学習施設(観  
察・体験・研修・宿泊施設、湿  
地・アシ原等の実験施設))

シンボ  
ルゾ  
ーン

アシ原・干潟・藻場の再生ゾーン  
(アシ原、干潟、藻場、高潮堤、不法係留船対策・  
沈没船撤去)

市民が親しめる海辺のゾーン  
(緩傾斜護岸、遊歩道、砂浜、干潟、高  
潮堤、不法係留船対策・沈没船撤去)